

北海道浮魚ニュース

平成 13 (2001) 年度 24 号 (通巻 No.117)

2001 年 10 月 19 日

北海道立中央水産試験場

Tel : 0135-23-8707 Fax : 0135-23-8709

釧路水産試験場

Tel : 0154-23-6221 Fax : 0154-23-6225

函館水産試験場

Tel : 0138-57-5998 Fax : 0138-57-5991

稚内水産試験場

Tel : 0162-32-7177 Fax : 0162-32-7171

網走水産試験場

Tel : 0152-43-4591 Fax : 0152-43-4593

◎オホーツク海スルメイカ・サンマ調査結果

10 月 9 日から 17 日に漁獲調査と海洋観測を網走沖と根室海峡で行いましたのでその結果をお知らせします。(図 1)。

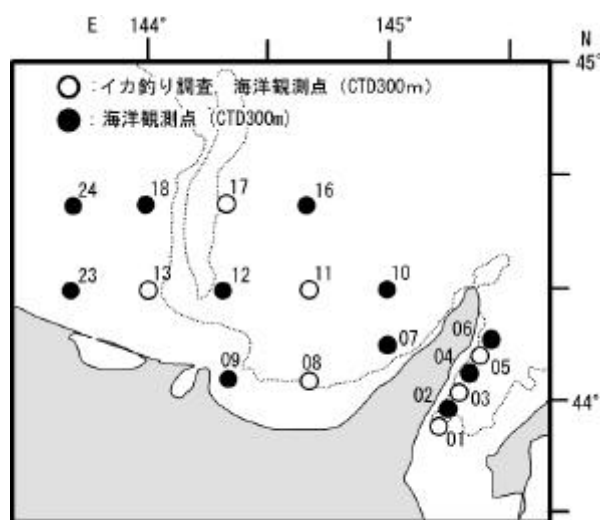


図 1 調査点図

根室海峡の表面水温は 13.9~14.1°C、50m層水温は 9.4~13.7°Cでした。前年より表面水温で 2°C低い水温でした。

オホーツク海の表面水温は 8.6~13.2°C、50m層水温は -1.0~10.8°Cでした。前年より表面水温で 1°C低い水温でした。

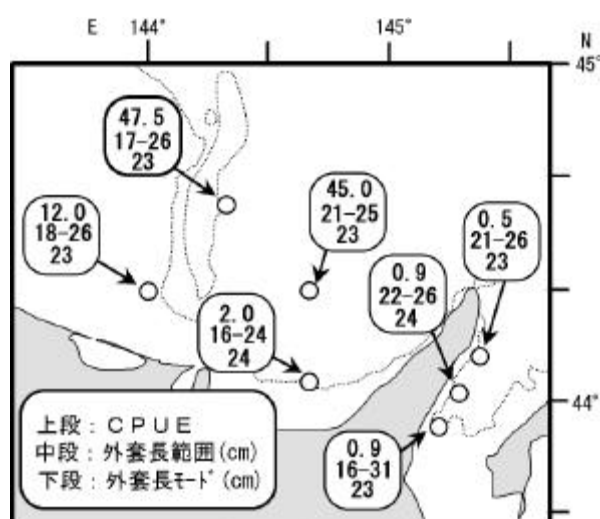


図 2 スルメイカ調査結果

根室海峡 3 調査点、オホーツク海 4 調査点でスルメイカの漁獲調査を行いました(図 2)。根室海峡の平均 CPUE*は 0.8、オホーツク海の平均 CPUE は 22.0 でした。

根室海峡の St.03~05 は、水深 500m以深の海域で、CPUE が 0.5~0.9 と低くなっています。St.01 も CPUE0.9 と低くな

っていましたが、手釣りで91尾の漁獲がありました。

＊CPUE：自動イカ釣り機1台で1時間に漁獲するイカの尾数。

漁獲したスルメイカの大きさは、オホーツク海で外套長*範囲16～26cm（モード*23cm）、根室海峡で16～31cm（モード23cm）でした（図3）。オホーツク海、根室海峡共に、前年と同じモードでした。

＊ 外套長：イカの胴体部の長さ。

＊ モード：最も多く漁獲されたイカの外套長

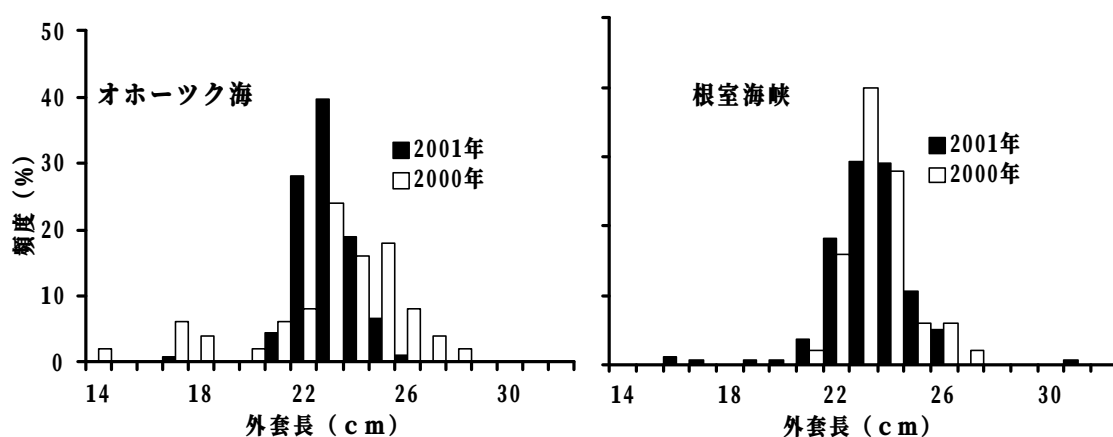


図3 スルメイカ外套長組成図

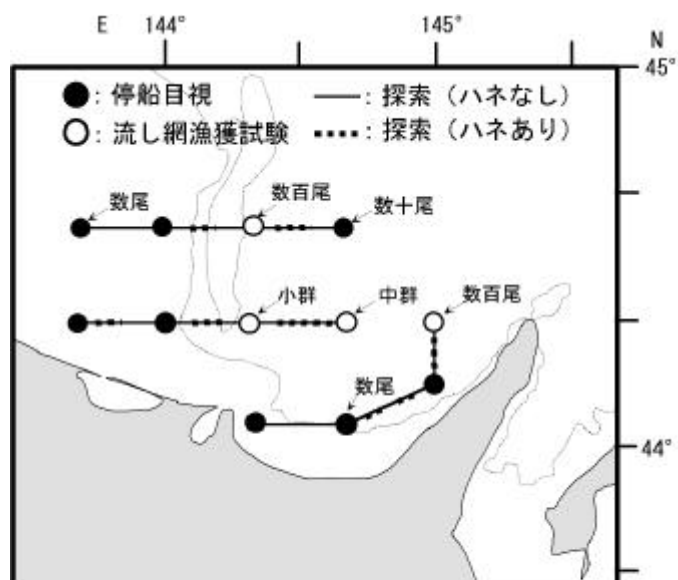


図4 サンマ探索・目視結果

小群：1ト未満の漁獲が見込まれるもの。
中群：1～5トの漁獲が見込まれるもの。

オホーツク海で、サンマの目視調査を行いました（図4）。夜間、12調査点で停船し目視調査を行い、その内4調査点で流し網を使用し漁獲を行いました。また調査点間をサーチライトで照らし、サンマ魚群を探索しながら航行しました。サンマ魚群は、北見大和堆から知床にかけて多く、沿岸ではあまり分

布していませんでした。漁獲試験に用いた流し網は、30間切りの目合い29mm一反を使用しました。大型の多かったSt.11では37mm（30間切り一反）も使用しました。

漁獲したサンマの大きさは、前年同様中型魚（24－28cm）が主体でしたが、St.17 では小型魚（20－23cm）主体でした（図5）。

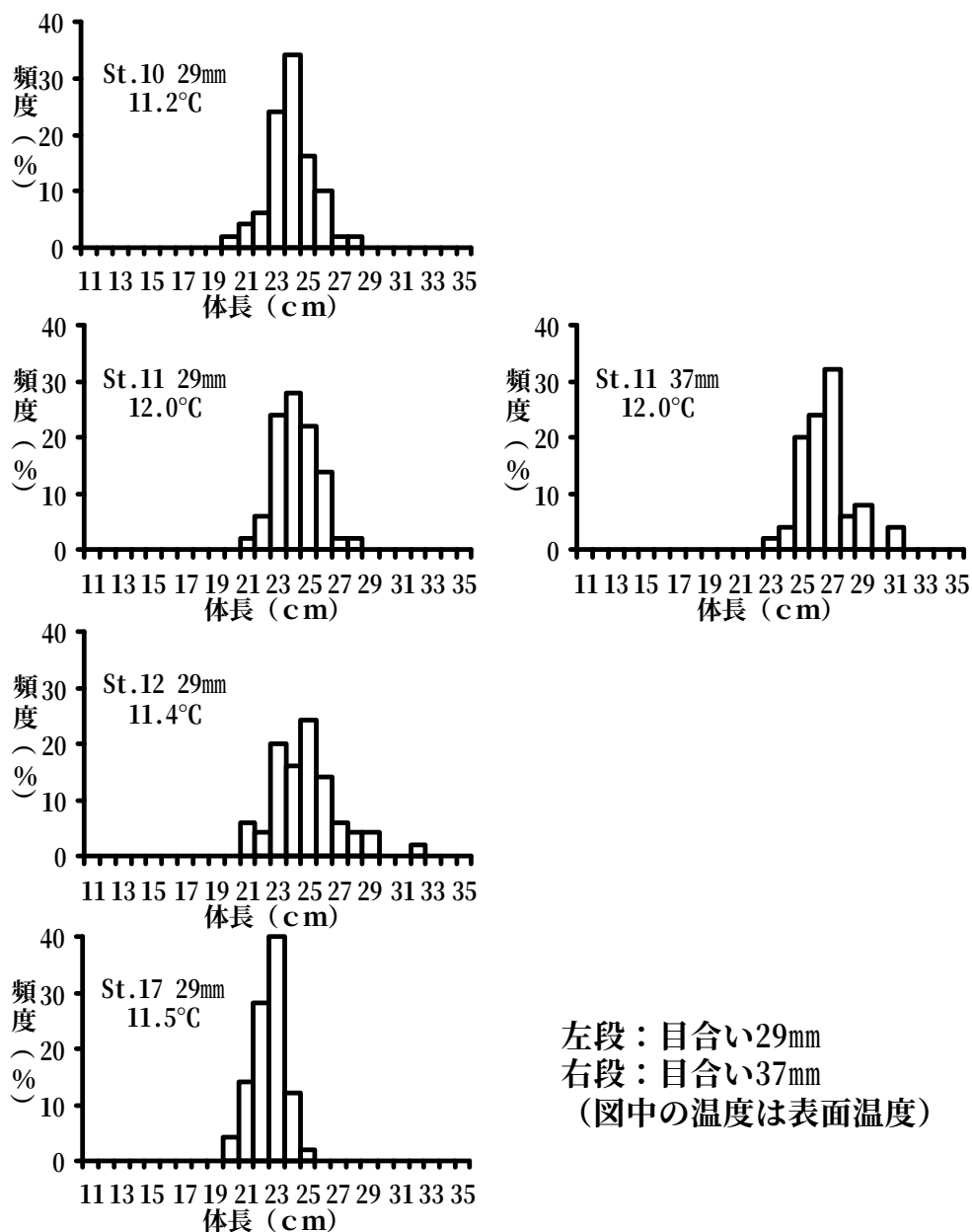


図5 漁獲したサンマの体長組成

(文責：釧路水産試験場資源管理部
直通電話 0154-23-6222)